

東西交通軸について

1. 概要について

宇都宮の中心市街地、鉄道との結節、産業拠点などをつなぐ地区の特性や沿線状況等を勘案し、東西基幹交通軸として、以下のようなサービスを提供する。

① 高頻度な運行

- ・ J R 宇都宮駅西口～桜通り十文字
乗換えを円滑にするため、5分～10分に1本の運行
- ・ J R 宇都宮駅東口～清原工業団地
都心部と産業拠点を結び企業活動を支援するため、10分～15分に1本の運行
- ・ 需要に応じ、大量輸送が可能な連節バスを運行する。

② 定時性・速達性の確保

- ・ 利用者の多い主要なバス停にのみ停車する急行バスと、すべてのバス停に停車する各駅バスとを、時間帯ごとの需要特性に応じて組み合わせて運行する。
- ・ バスの走行性を確保するため道路整備と合わせて、バス優先や専用レーンの拡充、バスの速達性を図るための公共車両優先システム（PTPS）の整備を行う。ただし、導入にあたっては、周辺道路への渋滞の影響など、実効性を十分に検討する必要がある。
- ・ また、大通りは、バスの走行性の確保を図るため、急行バス用のテラス型バス停の導入も検討する必要がある。

③ 乗継利便性の向上

- ・ 幹線バスや支線バスと接続し、利用者の乗継利便性を向上させ、さらには駐車場や駐輪場を併設し、それぞれの公共交通が円滑に機能できるような環境を整えるため、トランジットセンター等を整備する。

④ J R 宇都宮線の東西連絡

- ・ 駅を横断する東西直結による運行や今泉・築瀬アンダーからの迂回運行。
- ・ また、駅を直結運行としない場合は、駅連絡通路での動く歩道の設置。などについて検討する必要がある。

東西の基幹公共交通をバスで担う場合

- ・ 段階的にバスによるネットワークの再編ができる。
- ・ バスの運行形態や車両編成など、需要に応じたフレキシブルな対応ができる。